

旭川市報道依頼

各報道機関 様

|     |                                       |
|-----|---------------------------------------|
| 発表日 | 令和3年4月23日                             |
| 発信課 | 科学館                                   |
| 担当者 | 近藤                                    |
| 連絡先 | 電 話 31-3186                           |
|     | F A X 31-3310                         |
|     | E-mail:kagakukan@city.asahikawa.lg.jp |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 分 類             | イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他  |
| 日 程             | 5月3日, 4日, 5日の13:30~14:00   |
| 発表項目<br>行事名     | 火薬を使ったモデルロケットの打ち上げイベントを開催<br>します。  |
| 概 要             | <p>1 目 的<br/>ゴールデンウィークに科学館に訪れる来館者向けに見て楽しめるイベントとして、火薬を使って発射する小型のモデルロケットの打ち上げイベントを開催します。</p> <p>本格的なモデルロケットの打ち上げの観覧体験を通じて、打ち上がる仕組みやメカニズムなど、宇宙やそれに関わる科学技術に興味・関心を持ってもらうことを目的としています。</p> <p>2 内 容<br/>直径2cm、長さ30cmほどの小型モデルロケットを1日3回打ち上げます。</p> <p>3 日 時 ・令和3年5月3日(月) 13:30~14:00 3回打ち上げ<br/>・令和3年5月4日(火) 13:30~14:00 3回打ち上げ<br/>・令和3年5月5日(水) 13:30~14:00 3回打ち上げ<br/>※強風または雨天の場合は中止します。</p> <p>4 場 所 旭川市科学館北側 円環広場(旭川市宮前1条3丁目)</p> <p>5 対 象 どなたでも</p> <p>6 定 員 特になし(ただし密にならないよう御協力ください)</p> <p>7 見学科 無料</p> <p>8 申 込 不要(当日、時刻になりましたら会場にお越しください)</p> <p style="text-align: right;">お問い合わせ先<br/>旭川市科学館<br/>天文担当:近藤・加藤<br/>電話:31-3186</p> |
| 添付資料            | 有 ・ 無  |
| 報道(取材)に当たってのお願い | 取材をご希望の方は事前にお知らせいただけたら幸いです。  |
| 備 考             |  |

# モデルロケット 打ち上げイベント

観覧無料

【日時】 令和3年5月3日(月) 13:30~14:00 3回打ち上げ  
令和3年5月4日(火) 13:30~14:00 3回打ち上げ  
令和3年5月5日(水) 13:30~14:00 3回打ち上げ

【会場】 旭川市科学館 北口 円環広場

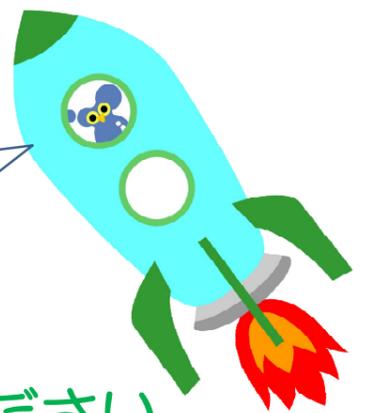
【対象】 子どもから大人までどなたでも

【申込】 不要

【見学料】 無料

【定員】 特になし。ただし密にならないよう御協力ください。

当日は時刻になりましたら会場周辺にお越しください。



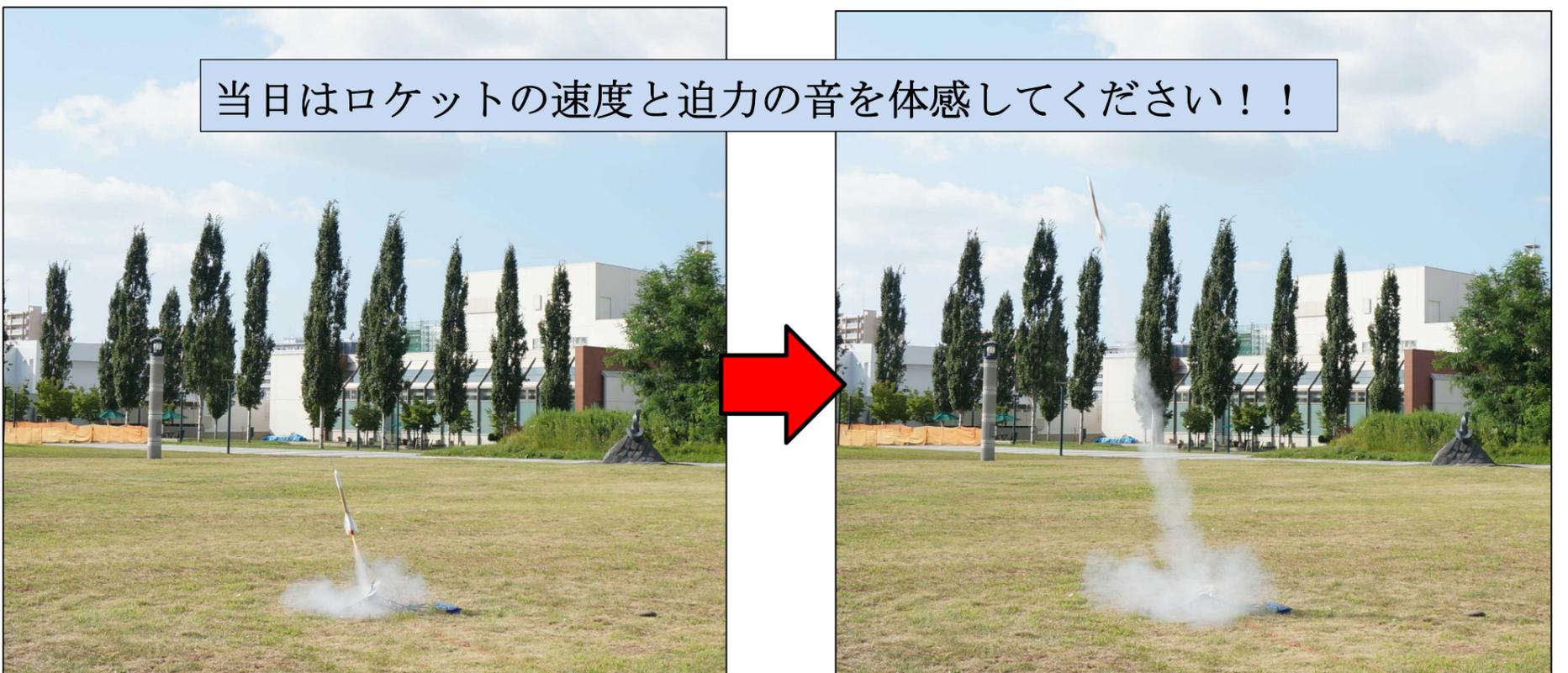
## ★小型のモデルロケットの打ち上げを見よう！！★

小型でも、火薬のエンジンで打ち上がるモデルロケットは迫力満点です！！

是非打ち上げを見に来てくださいね！！上空どこまで上がるかな！？

※強風または雨天の場合は中止とさせていただきます。

当日はロケットの速度と迫力の音を体感してください！！



# サイパルロケットカウントダウン

モデルロケットは1970年代、アポロロケットが活躍した頃、宇宙教育の一環としてアメリカで生まれました。

日本ではペットボトルを使った水ロケットが多く使われますが、全世界ではこの火薬エンジンを使ったモデルロケットが一般的です。モデルロケットは50年以上の歴史があり全世界で5億回も発射されていますが、今まで一度も事故がありません。これは正しいルールの下、世界中の人がルールを守り安全に打ち上げされているからと言えるでしょう。

サイパルで打ち上げるモデルロケットは長さ35cm、直径2cm、重さ80g前後で、1954年に“ロケット開発の父”糸川英夫教授が実験に使ったペンシルロケット（長さ23cm、直径1.8cm、重さ200g）より軽量ですが、ひと回り大きいサイズです。

サイパルのモデルロケットの本体はノーズコーン（先端の三角の部分：発砲スチロール製）以外、ほぼすべて紙（本体：紙筒、フィン：ケント紙）でできています。

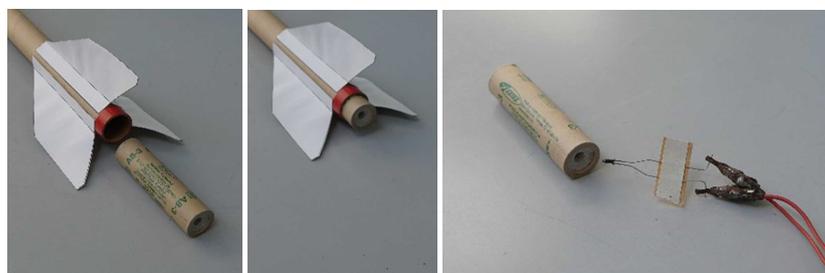


エンジン

イグナイター

打ち上げるには、ロケット本体の他に、エンジン（火薬です！）、イグナイター（エンジン着火用の火薬）などを装填し、コントローラーによって点火します。

打ちあがったロケットは最高到達点で数秒ほど慣性飛行したのち、エンジンの逆噴射によって、ノーズコーン部分が外れ、中からショックコードに結ばれたリボンが飛び出します。このリボンは本体の落下速度を緩めるパラシュートのような役割を果たします。



イグナイターはエンジンの空洞にいれます。

コントローラ

打ちあがったモデルロケットは上空100m前後まで上昇します。上空でノーズコーンが無事外れればリボンの作用により、まっすぐ自由落下で落ちてきます。

発射場の近くに落ちるかどうかは、打ち上げる人の腕の見せ所です。5月3日、4日、5日は打ちあがる様子はもちろんですが、落ちてくるロケットにも注目です。



ショックコード  
パンツのゴムと叫ばないで・・・

安全落下用リボン

サイパルでは、毎年8月に小学4年生～中学生を対象に、モデルロケットを製作して、実際に打ち上げを体験する“コズミックカレッジ”という工作教室を開催しています。

興味がある方は、天文台までお問い合わせください。

## ★令和3年度コズミックカレッジ★

8月3日（火）ゴム動力飛行機の製作と試験飛行

8月4日（水）モデルロケットの製作と打ち上げ

※両日とも10:00～16:00/参加料 各日2,000円/申込はWebから抽選10名  
※両日参加、または片方のみ参加することもできます。